



おおさきかみじま
議会だより

第58号/2017年11月3日

平成29年9月定例会

9月定例会・監査委員報告 - 2・3
3議員が一般質問 - 4～6

シリーズ・部活紹介「大崎海星高校」 - 7

委員会報告 - 8～9

あれからどうなった・編集後記 - 10

△ フリシヨイ!
△ フリシヨイ!



第3回定例会(9月議会)

平成29年第3回定例会を9月20日、21日と2日間開催した。

3名の議員の一般質問、平成28年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告を受けた後、条例改正や一般会計及び特別会計の9月補正を含む17議案を審議可決した。

なお、平成28年度大崎上島町一般会計ならびに特別会計の歳入歳出決算認定については決算特別委員会に付託した。

決まった主なこと

○大崎上島町人権擁護委員の推薦の同意

氏名 有田 卓也 氏 (大崎上島町東野)

○呉市と大崎上島町との連携中枢都市圏形成に係る連携に関する協議

○大崎上島町営住宅条例の一部を改正する条例

○平成29年度大崎上島町一般会計補正予算(第3号)及び8特別会計補正予算

○決算特別委員会を設置

平成28年度一般会計及び11特別会計の歳入歳出決算についての認定審査をする。

委員長 水橋 直行 副委員長 森若 巖
委 員 尾尻 康二 閑田 大祐 前田 太 上青木 至

第5回臨時会(8月10日議会)

- 業務委託契約の締結
- 財産の取得

平成28年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告書

区分	実質公債費比率	将来負担比率
28年度決算健全化判断比率	11.0	—
27年度決算健全化判断比率	11.7	—
(早期健全化基準)	(25.0)	(350.0)
(財政再建基準)	(35.0)	—

※将来負担額より充当可能財源等が多い場合は「-」を記載している。

審査意見書

平成28年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率とともに、現状では基準値内で推移しており、特に指摘する事項はないが、今後、合併算定替の特例が段階的に終了し交付税の減少、景気低迷による町税等自主財源の減収も見込まれるなか、厳しい財政運営を強いられるが、引き続き健全な財政運営が図られるよう努力されたい。

大崎上島町監査委員

■実質公債費比率

町の標準財政規模に占める借金返済額を示す比率。18%を超えると、起債（借金）の際に知事の許可が必要となり、25%を超えると早期健全化が求められる団体となる。

■将来負担比率

市町村が将来返済しなければならない負債の標準財政規模に対する割合を示した率。350%を超えると早期健全化が求められる団体となる。

平成28年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算審査意見書

平成29年8月21日から8月24日まで、4日間にわたり平成28年度大崎上島町一般会計決算、各特別会計決算及び関係書類等について審査しました。

○決算の結果および意見 (要旨)

滞納課題については、担当課において現年度での新規滞納者の発生防止に取り組むとともに、改編整備された債権確保対策委員会を全庁全部署で有効に機能を図り、回収の具体的な成果を効率的に追及して下さい。

地域の特性（過疎、離島等）を活用し、補助金、交付金等の導入を組み合わせての地域おこし、活性化の事業（大崎海星高校活性化、G.L校誘致、農業振興等）の動きが具体化し、そのプロセスと成果に対しまさまでに期待が寄せられています。今後の事業の具体化については、事業、施設が次世代の重荷にならないよう、維持、管理、運営プロセスを身軽な仕組みに工夫し、当町に於ける持続可能な事業として推進されることが望れます。

決算審査の過程において、予算執行及び事務の処理が適正に行われている事を確認するとともに事務事業、プロジェクト事業等において歳入の確保、歳出の抑制、事務事業の効率化等に積極的に取組み、健全な財政運営に向けた努力が続けられている幾つもの例に触れることができました。

一方、予算の活用については、期末の議会開催時期が変更されたことによる影響はあるが、不用額が増大しています。当初予算と計画事業については、半期経過までにその見通しと内容を吟味し、戦略的に見直すとともに大胆に補正を行い予算の再配分を可能にし、緊急、新規、待機事業に機会を逃さず有効に活用されることが求められています。

事業プロセスと社会情勢の変化に機敏に反応しながら、健全な財政運営の担い手として、その期待に応え続けられるよう期待します。

以上を決算審査意見書とする。

大崎上島町監査委員

澤田
道林
清隆

一般質問

3人の議員が4項目を質問

町政を問う

海釣り公園の利用は、現在、土日、祭日、盆休みと、修学旅行受入時には、受入家庭が利用できることとなっている。通常の平日の利用ができず、観光施設として利便性が悪く、利用の低迷が続いている。指定管理者との調整を行い、利用日の増加を図り、また、今後、施設の整備、魚の放流、釣り大会等のイベントの開催などにより施設の活性化を図る施策をとれないか。また、施設を開放し、自由に利用できる協議は行っているか。

質問
(尾尻議員)



尾尻 康二 議員

答弁 (地域経営課長)

当施設は、設置当初から指定管理者と協議を行っており、有効活用を目指してきましたが、難しかった。施設の開放については、町の施設のため管理者を設

現在、入場料を無料としているが、年間の利用者数は約600名程度で横ばい推移である。平日の自由なオープンは、指定管理者と何度か協議をしているが、管理者の設置が必要であり、費用がかかり、現状、対応は困難である。施設の活用計画、イベント開催も取り組みを重ねているが、収支が伴わず進展できてない。施設の利用は、現状維持を図る。

答弁 (地域経営課長)

置し安全対策は怠ることができない。

活用計画は、海関係の釣り施設であるから、指定管理者と協議をしていく。

問
答
活用計画は、
指定管理者と協議する

海釣り公園の活性化を



お知らせ

○本序・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継をご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合はホームページの注目記事

「○○議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。

※録画の視聴は町議会メニューの議会録画中継配信でご覧いただけます。

質問（閑田議員）

県による水道事業の統合計画が報道された。使用料が安くなる・設備更新時の負担が減るなどのメリットが考えられ、中山間の自治体からは期待の声が上がっているというが、本町の立場は。また、実際にはどの程度のメリット・デメリットが考えられるのか。

答弁（上下水道課長）

9月8日に開催された広島県水道事業推進会議で、中間まとめの説明を受けたが、あくまで県全体の連携効果として試算されたものと認識している。本町の効果額を詳細には把握していない。



問

県の水道事業統合計画への本町の立場は

答

経過を踏まえて検討

町の配水池を経由せず、県が直接供給する案があり、今後個別に説明があると考

えている。これを踏まえて検討する必要がある。

再質問（閑田議員）

使用料のみで賄いきれていなきことも踏まえ、町が県から購入しているコストに関わるリスクもある程度試算しておくべきでは。

答弁（上下水道課長）

町の水道最適化構想では、県水道から町の配水池に送水するポンプ所が、4か所は減らせると中間報告を受けている。これで約300万円の経費節減ができる。料金については、県が格差解消を目的としているので高くなることは考えていない。



ポンプ所の削減効果は…



配水池の維持費もかかります



問

木江支所前の道路整備を

答

改善策を県に要望

具体的な改善案を
県に要望していく

質問 (浜田幸造議員)

質問 (浜田幸造議員)

現在、天五地区・郷

地区・宇浜地区の児童
11名、園児4名、付き
添いの保護者5名が、
狭くて歩道のない通学
道を歩いてバス停まで
移動し、7時30分発の
スクールバスで登校し
ている。

その後すぐに大崎バ
スも反対車線から発車
し、通勤車両が頻繁に
通行していく、この区
間は非常に危険な状況
にある。

安全で安心して通行
できるように道路整備
が急がれるとと思うが、
今後の対策は。

答弁 (建設課長)

道路利用者からは、拡幅
要望は以前からあるが、現
実的には家屋が連続してお
り、道路拡幅することは非
常に困難な状況で今日に
至っている。

今年7月19日に、通学路
合同点検として竹原警察署
木江分庁舎、広島県そして
木江小学校、町教育委員会、
建設課が合同で通学路の点
検を実施した。この区間の
改善が必要となっているが、
当面は保護者が付き添い安
全指導を行うことになつて
いる。

この区間は、幅員が5m
と狭く車道のみとなつてい
るため、これまでも県に要
望してきているが道路拡幅
には至っていない。今年は県
の予算時期にあわせ、これ

までより具体的な改善案を
作成し、県に実施要望して
いく。



今後も大雨等により崩落が
かけて法面が一部崩落し、
上この区間の道路幅員も狭
く通行上非常に危険な状況
にある。

早急に落石防護対策等安
全対策が必要だ。今後の対
応策は。

答弁 (建設課長)

この区間の崩落個所につ
いては、平成27年度に崩落
した岩が道路まで出てきた
ことがあります。応急対策とし
て落石が道路に出ないよう
にコンクリートブロックを
設置している。

現地状況を確認したとこ
ろ、現在も落石が続いている
り落石が拡大する可能性が
あるので、道路防災工事と
して県に実施要望していく。


応急処置のまま…

成にあわせ、道路対策を積
極的に進める町の方針を伝
えるとともに、安全を第一
に考えた改善策を県に対し
て実施要望していく。

問

宇浜～岩白間県道に落石防護対策を

答

改善策を県に要望

登校時間は通勤車両も多く、
危険です

この区間は、幅員が5m
と狭く車道のみとなつてい
るため、これまでも県に要
望してきているが道路拡幅
には至っていない。今年は県
の予算時期にあわせ、これ

また、引き続き県の予算編

質問 (浜田幸造議員)

浜田 幸造 議員

大崎海星高校 ソーラン部の紹介



議会は、がんばる島の子ども達を応援します。
『このページは、大崎海星高校より頂いた原稿・
写真を掲載しています。』

私たち大崎海星高校ソーラン部
は一年生十一名、三年生七名の計
十八名で活動しています。今年は
新入部員が多く入部し、迫力のあ
る演舞ができるよう頑張っています。

主な活動内容は、学校の行事や
老人ホームでのイベント、フラ
ワーフェスティバルへの参加など
です。今年度も昨年度同様、演舞
を披露する機会を多くいただきま
した。多くの方に見ていただきこ
とができる、とても充実した活動が
できています。

今後も島内の施設や祭りへの参
加も予定しており、演舞する機会
はたくさんあります。お見かけし
た際には応援よろしくお願いしま
す。

大崎上島の伝統であるソーラン
を受け継いでいる自覚を持ち、演
舞を見てくださった人たちに笑顔
と元気と感動を与えることができ
るように頑張っていきたいと思
います。



総務福祉文教常任委員会報告

委員長：関田 大祐 副委員長：渡辺 年範
委員：越田 賢一 前田 太 道林 清隆
水橋 直行

大崎上島町議会6月定例会以降に開催した、委員会での主要な調査、協議事項及び継続審議した内容と、事業内容の審議を報告します。

○地域情報化推進事業

災害時に避難所や町の主要施設で、被災者が情報を受発信する際に必要なインターネット接続環境（公衆無線LAN）を構築し、平時は観光情報の収集活用で来町者向けのサービス向上を図ることとしています。

現在、公衆無線LANのアクセスポイント設置個所を検討中ですが、避難施設は国補助金の対象なので優先して整備を行います。観光施設や港湾施設については、スマートフォンの急速な普及、モバイル事業者による新たなサービス展開などを踏まえ、観光向けの公衆無線LANの需要は今後減少すると考えられるため、最低限の整備にとどめ、必要に応じ追加整備することとなりました。



○教育の島推進事業

教育の島推進事業の内訳として、6つの事業が実施されています。

・教育の島創造協議会開催

・教育の島創造コーディネーターの設置

・教育の島交流基本構想の策定

・教育交流実施懸賞事業

・定住プログラムも出るツアーリーに実施

・町の魅力、発見発信事業

・事業費は総額2820万円、そのうち1/2が地方創生推進交付金という国

創生推進交付金です。

この中には地域課題解決事業に似かよつたものもあり、事業の実施にあたって参考にする、あるいは事業を集約すべきという意見が、委員から出されました。

○学校ICT導入

学校へのICT機器導入は「教育のICT化に向けた4ヶ年計画」に基づき、随時導入されてきました。

今後は少人数学級化に対応するべく、新たなICTの導入を求める意見があり、教育委員会としても導入したい意思があるとのことで

○大三島ブルーライン
木江（今治間を運航する



老朽化の著しいフェリー「みしま」

○備品管理

平成24年度よりシステム運用が始ままり、適正な管理と運用が求められている町

の備品で、庁舎以外の施設に置かれている備品が適切に管理されていない問題がありました。

ふれあいの館、各下水道処理施設、産品開発センターなど8施設で約320件の記載漏れが見つかり、8月31日まででは是正されました。

ス

公募型プロポーザルを経て今後は、平成31年3月の就航を目指して建造されま

す。老朽化に伴い、修繕費が増加していることなどを踏まえ、以前から新造船の検討がされてきました。

フェリー「みしま」は今年船齢26年となり、耐用年数11年を大幅に超えて運航しています。

老朽化に伴い、修繕費が増加していることなどを踏まえ、以前から新造船の検討がされてきました。

産業建設常任委員会報告

委員長：尾尻 康二 副委員長：森若 嶽
委 員：信谷 俊樹 浜田 明利
浜田 幸造 上青木 至

平成29年6月定例会以降の委員会報告をします。各課から9月定例会で議案となる補正予算案と主な繰越事業の進捗状況などの説明を受け、審議をしました。

○大串干拓地造成工事

9月末が工期であり、進捗状況を確認。機械、人員の配置を適正に行うよう指導し、工期内に完了しました。

○定住促進「沖浦団地」の 分譲

8月より町広報誌にて二区画の分譲募集を開始しました。
現在一区画応募がありま
した。

○大串区のレモン団地新設 補助事業

補助金の減額に伴い、当初の2ヘクタールより1ヘクタールに計画変更となりました。

○イノシシ処理施設建設

建設予定地は、旧西野小学校跡地です。

○県営事業東地区畠地帶給
令第499號

農業用排水施設は平成29年12月、農地造成工事は平成30年3月、土壌改良・客土と暗渠排水工事および、農業用水施設は平成31年度中に完成予定です。

・島の仕事図鑑作成事業

第五弾として「教育の島」を取り巻く人達を紹介する冊子を作成する予定です。

- ・沖浦漁村センター修繕工事（243万円）
- ・神峰山公園にモノラック設置工事（37万円）

神峰山でのイベントに使用する機材、資材等の運搬の負担を軽減されます

平成29年9月29日に開催された全国町村議会広報研修会に、委員5名・事務局1名が参加しました。

3人の講師が、各自の分野に応じた内容で分かりやすく講演されました。

る広報』から『伝わる広報』へ」と題し、簡潔で分かりやすい文章の組み立て方を、吉村潔先生はSNSの活用も含めた電子広報について、吉野政明先生は「優秀賞受賞紙から学ぶ」として議会広報コンクールで表彰された2紙を教材として、良い部分だけでなく改善するべき点も含めて論評をいたしました。

これを生かし、今後もさらに読みやすく、読んでいただけるような紙面づくりを進めてまいりたいと考えております。

広報調査特別委員会 研修報告



完成間近です



分譲開始！

追跡 あれからどうなった

(平成26年6月定例会一般質問から)

質問

竹原フェリー駐車場拡張は

回答

市長が変わったので改めて協議

その後の経過

現在、北崎港駐車場の有料化は断念している。

今の駐車場利用状況は市営住宅用地を臨時駐車場として借りているのでスペース的に余裕がある。

竹原市が臨時駐車場を維持していくことは厳しいと感じているため今後のこととは島町と協議したい。



編集後記



今年は涼しくなるのが早いと感じていましたが、統計によると気温は平年並みとか。

温暖化の影響で、体が覚えている季節の気温に狂いが生じているのでしょうか。10月の気温はもつと高いよう気がしていました。

朝晩の冷え込みが激しく、風邪も流行っている模様。



流行に敏感な私も、ご多分に漏れず風邪をひきました。秋祭りや運動会など行事が目白押しのなかで、何とか寝込まず頑張っています。北朝鮮情勢も冷え込みが激しく、米朝は一触即発の様相。

戦争をした当時の痛みは覚えていないのでしょうか。何とか対話の糸口が見つかればよいのですが。寝込みたくなるような事態は避けて欲しいですね。(K)

議会広報委員	
委員長	関田大祐
副委員長	水橋直行
委員	尾尻康二
委員	越田賢一
上青木至	森若巖

議会傍聴をしてみませんか。
次回の定例会は**12月**です
日程は町内放送・ホームページで
お知らせします。

大崎上島町議会

TEL(0846) 65-3130(直通)
FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1
URL:<http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>